

# みのかも 文化財ノート

No.3

発行 2007(平成19)年3月31日  
編集 美濃加茂市教育委員会教育部文化の森  
〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋 3299-1  
TEL 0574-28-1110 FAX 0574-28-1104  
<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

2007.3.31

美濃加茂市教育委員会では、市内に残る貴重な文化財に関する平成18年度の主な事業として、旧太田脇本陣林家住宅隠居家の一般公開、埋蔵文化財をはじめとする各種文化財の保護管理・調査・普及事業等を実施しました。  
みのかも文化財ノートは、市内の文化財に関連しておこなわれた様々な事業を紹介するものです。

ひろめる

重要文化財

## 旧太田脇本陣林家住宅 隠居家の一般公開

旧太田脇本陣林家住宅は、中山道51番目の宿場である太田宿の脇本陣として機能していました。昭和46年には、主屋・表門・質倉(しちぐら)・借物倉(かりものぐら)が国重要文化財に指定され、その後平成12年、隠居家(いんきょや)・附便所・附井戸屋・附堀5棟・宅地等が追加指定されました。江戸時代を中心に建設された建物がまるとまって残っており、大規模商家の屋敷構えを現代に伝える数少ない貴重な遺構です。

隠居家は文政12年(1829)の家相図により、この頃建てられたものと考えられています。一列三室型の町屋形式ですが、室内の数寄屋風(すきやふう)の造作に隠居家らしい趣があります。平成15年1月から国庫補助事業として修理が進められ、平成17年3月に終了しました。

そして、平成18年4月には隣接する太田宿中山道会館がオープンし、同時に隠居家も一般公開されるようになりました。太田宿中山道会館とともに太田宿の魅力を紹介する新しい拠点となるよう、期待されています。平成19年2月末までに1万人を超える見学者が訪れました。

また、そこで管理されている貴重な文化財を守るために、日常の清掃や防災保守点検等も行われています。特に毎年1月に行われる文化財防火デーでは、市内各所の文化財所有者や可茂消防署と共同で消火訓練を行います。



一般公開初日



中山道まつり

- 開館時間 9時から16時
- 休館日 月曜日及び月曜日が祝祭日の場合は火曜日  
12月28日から翌年1月4日
- 入場料 無料

まもる

## 市指定天然記念物 森山のオオクワの剪定

森山のオオクワは明治・大正・昭和初期にかけて、この地域の主要産業であった養蚕を象徴するものです。

森山のオオクワのある古井地区には、かつて一面に桑畑が広がっていました。森山のオオクワは、現在住宅地の一角にあります。このため、周辺の環境にあった保護として剪定作業を行いました。



剪定作業



川岸に残されたオオサンショウウオ

まもる

## 災害による国指定特別天然記念物 オオサンショウウオの保護

平成18年7月、市内を流れる木曾川で特別天然記念物オオサンショウウオが川岸にいるところを保護されました。

台風19号により河川が増水し、その後水位が低下して岸辺に取り残されたものと考えられます。慎重に保護し、計測等の調査を行いました。幸い、外傷等がなかったため、安全な場所に戻しました。

ひろめる

## 文化財愛護標柱、案内板の修繕 —井ノ上観音堂(太田町)—

太田町字井ノ上にある観音堂では、江戸時代の僧侶・円空(寛永9年～元禄8年)によって造顕された仏像が本尊として祀られました。

十一面観音(53cm)を本尊として、向かって右に善財童子(27.5cm)、左に善女竜王(34cm)を脇侍とした、三尊一具の仏像です。

これらは市指定文化財(彫刻)となっており、今年度、標柱と案内板を修繕しました。



井ノ上観音堂

しらべる

## 地域の歴史調査

市では、近代化によって消えつつある道や地名、石造物などを歴史資料や聞き取りをもとに記録にとどめてきました。

平成16～18年度では、市内各地に残っている「辻」を調査しました。人々が集い、行き来する場所である辻と、そこに伝わる人々の暮らしの痕跡や宗教的な慣習からつくられた石造物や建物等を聞き取り、成果の一部を美濃加茂市広報に連載しました。平成19年度からは、辻の調査をふまえ、伝承地名の調査や記録を行う予定です。



間関峠と地藏菩薩(伊深町)



地層の調査

しらべる

## 地質調査(木曾川)

この地域は、化石の宝庫として知られています。木曾川の河原では、およそ1900万年前の大型ほ乳類の足跡化石や大規模な珪化木群である化石林が確認されています。今回、木曾川の周辺で工事があり、その工事作業に伴って調査を行いました。地層は瑞浪層群中村層で、褐炭層や泥岩層を含み、植物の葉の化石等を確認することができました。

ひろめる

## ホームページの拡充

みのかも文化の森ホームページ内のデータボックスを拡充しました。

「指定文化財一覧」や「文化財マップ」によって、市内にある指定文化財について、写真と解説でより詳しく紹介することができるようになりました。また、埋蔵文化財についても、保護や取扱い等を閲覧することができます。



<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/cultural/index.html>

しらべる・ひろめる

## 地籍図の デジタルアーカイブ

みのかも文化の森では明治初期の地籍図などを所蔵し、デジタルアーカイブ事業として順次それらをデジタル化しています。地籍図の中には、付け紙等がはがれ落ちたり、大きいものは4メートルを超えるものがあったりしたため、閲覧が難しい状態でした。デジタル化することによって、近代の美濃加茂の様子をパソコン上で見るできるようになりました。



加茂郡太田村地籍図

## 埋蔵文化財

美濃加茂市では、かねてより市内各所の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に関する調査等を実施しており、その成果を「美濃加茂市遺跡地図」として情報の蓄積や更新を随時おこなっています。それは、周辺を含めた分布調査や地下調査（試掘）結果等と併せ、包蔵地の照会や事業主がおこなう開発等の予定地における埋蔵文化財の有無の可能性、工事が与える影響等を判断することで、保護と開発事業等の調整をはかっています。

平成18年度は、美濃加茂市開発事業指導要綱に基づく事前協議の対象となる1,000㎡以上の開発計画が37件、同砂利及び岩石採取協議会で協議対象となったものが7件、包蔵地の照会が126件ありました。そのうち、埋蔵文化財の遺存の可能性が考慮され、試掘あるいは工事立会について意見及び対応したものが79件あり、埋蔵文化財の保護に関する指導等をおこないました。

また、美濃加茂市が所蔵する考古資料について、池奥古墳群・仲坂古墳（蜂屋町）の出土品によるデジタルアーカイブを作成しました。また、美濃加茂市民ミュージアムにおける展覧会や講座、小・中学校による学習活動への利用等、一層の公開や活用に努めています。

## しらべる 後田遺跡の調査

当該地は低位段丘の中ほどにあたり、JR美濃太田駅の南隣に位置しています。太田町字後田地内は後田遺跡とされ、岐阜県を代表するような弥生時代前期の遠賀川系土器の壺が工事中に発見されていました。



後田遺跡周辺（南から）



須恵器埋納土坑遺物出土状況（西から）